

(別紙)

令和8年度堅果類豊凶調査の結果（長野県）

【樹種別評価】

樹種	判定	前年比	豊凶の状況
ミズナラ、コナラ	並作 〔並作下〕		・一部に結実量が少ない地域もあるが、 <u>県内全域で並作程度の結実</u> が認められる。
ブナ	豊作 〔凶作〕		・県北部に広く分布するブナは <u>豊作から大豊作</u> である。
クリ、クヌギ等	並作上 〔並作上〕		・地域や個々の樹木によるバラツキはあるが、全体でみると <u>例年同様に一定の結実</u> が認められる。

【地方別評価】

地方（地域）	判定	前年比	豊凶の状況
東信 （佐久、上田）	並作 〔並作〕		・地域や個々の樹木によってバラツキはあるが、 <u>昨年と同程度の結実</u> が見込まれる。
南信（諏訪、上伊那、南信州）	並作下 〔並作〕		・広く分布するミズナラ・コナラは凶作の場所もあるが、 <u>例年並みの結実</u> が見込まれる。
中信（木曽、松本、北アルプス）	並作上 〔並作〕		・木曽地域は昨年並みの結実であるが、 <u>松本以北</u> では昨年よりも作柄が良く <u>結実は多い</u> 。
北信 （長野、北信）	並作下 〔不作〕		・ブナは豊作以上の作柄で <u>結実が多い</u> 。コナラやミズナラは地域差が認められるものの、 <u>並作程度の結実</u> が見込まれる。

※〔 〕はR7年の判定

※ 豊凶判定：大凶作 < 凶作 < 不作 < 並作下 < 並作 < 並作上 < 豊作 < 大豊作

※堅果類豊凶調査の実施方法

対象樹種：ミズナラ、コナラ、ブナ、クヌギ、クリ、クルミ

調査方法：①県内各地（令和8年度：145地点、1,165本）で目視により樹冠全体及び枝の着果状況を確認

②着果状況に応じて樹木ごとに着果度ランクを決定

0:着果無し 1:樹冠一部 疎に着果 2:樹冠一部 密に着果

3:樹冠全体 疎に着果又は樹冠半分 に密に着果 4:樹冠全体 密に着果

③地点樹種ごとに着果度ランクの平均値を出し、豊凶を判定

着果度ランク平均値	豊凶判定	着果度ランク平均値	豊凶判定
0	大凶作	1.5以上～2.0未満	並作
～0.3未満	凶作	2.0以上～2.5未満	並作上
0.3以上～1.0未満	不作	2.5以上～3.5未満	豊作
1.0以上～1.5未満	並作下	3.5～	大豊作

④判定結果を林業総合センター、環境保全研究所の研究員が総合的に評価、クマの出没を予測